

柏崎地域振興局の概要



令和8年度版

目 次

I 柏崎地域の概況

1	地勢等	1
2	市村の概要	4
3	公共施設	4
4	人口移動状況	5
5	年齢3区分人口割合	5
6	産業構造	5
7	大学設置状況	6
8	高等学校の大学等進学状況	6

II 柏崎地域振興局について

1	組織体制図	7
2	取組方針について	8
3	危機管理について	9

III 各部の取組

1	地域振興担当	11
2	健康福祉部	13
3	農業振興部	15
4	地域整備部	19

IV	柏崎地域のみどころ等	24
----	------------	----

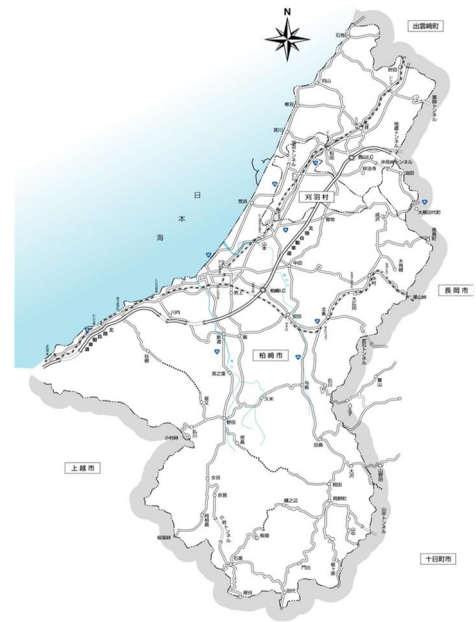
I 柏崎地域の概況

1 地勢等

【地勢】

県中央部の南西寄りに位置し、柏崎市（平成 17 年 5 月に西山町、高柳町を合併）と刈羽村の一市一村で構成され、面積は 468.3 km² で県全体の 3.7% を占めます。

日本海、刈羽三山（米山、黒姫山、八石山）、鯖石川・鵜川・別山川（鯖石川支流）の 3 河川周辺に里が広がり、海・山・里のすべてが揃っている地域です。特に、米山から鯨波の海岸部分は「佐渡弥彦米山国定公園」に指定されており、約 42km に及ぶ海岸線には 15 の海水浴場があります。



「米山」

米山福浦八景県立自然公園内にある恋人岬から見る米山（標高 993m）。刈羽三山の 1 つで、古くから霊峰として親しまれ、毎年多数の登山客が訪れます。

【歴史・文化】

かつては北前船を利用した米や青苧^{あおぞ}の集積基地として、小千谷などから越後上布の江戸、京都、大阪への流通を担ったことから商業が興隆しました。

このような歴史的背景から幾多のコレクターを生み出し、コレクションビレッジ（同一庵藍民芸館、痴娯の家、黒船館）や木村茶道美術館などで、貴重な文化的資料が保存されています。



「綾子舞」

国の重要無形民俗文化財に指定されている「綾子舞」、500 年以上伝承されてきた古典芸能で、初期歌舞伎踊の面影が色濃く残ります。毎年 9 月に伝承地（柏崎市女谷）で一般公開されます。

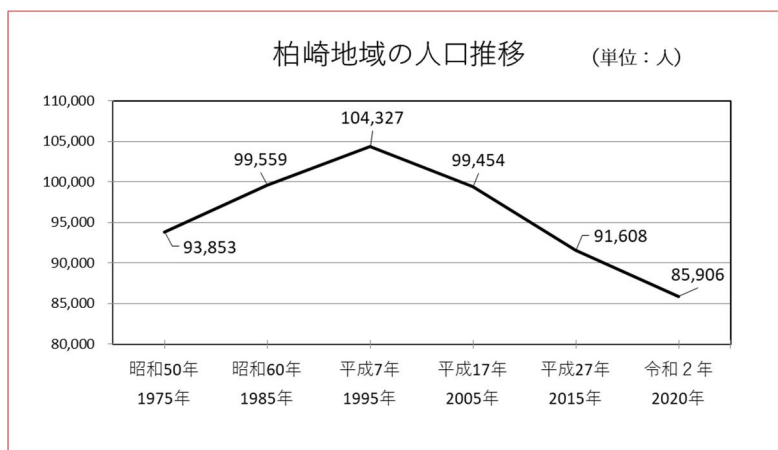
令和 4 年 11 月 30 日にユネスコ無形文化遺産登録が決定しました。

また、新潟県の変遷においては、柏崎県や相川県を統合・合併し、明治19年に現在の姿になりましたが、当時の柏崎県を見ると、長岡・高田など広範にわたって統治し、多くの大事業を実施するなど大きな影響力を持っていました。

【人口】

令和7年10月1日現在、78,891人で県総人口に占める割合は3.81%となります。

(柏崎市 74,752人 刈羽村 4,139人 県総人口 2,071,066人)



- 昭和43年 柏崎市、黒姫村合併
- 昭和46年 柏崎市、北条町合併
- 平成元年 柏崎市、柿崎町の一部(上輪、高畔、蕨野)を編入
- 平成17年 柏崎市、高柳町、西山町合併

出典：国勢調査
新潟県推計人口

【産業】

日本石油(株) (現 JXTGエネルギー(株)) などの石油会社が柏崎で創業したことから、それに関連する掘削部品やバルブに端を発し、切削加工、製缶、メッキ、鋳・鍛造、プレス、金型などのものづくりにおける基盤技術を有する機械・金属分野の企業が集積しています。中でも自動車産業の発展と結びついた一般機械器具製造業は、柏崎の製造業の中核となっています。

また、世界最大級の発電規模を有する東京電力HD柏崎刈羽原子力発電所が立地しています。

「柏崎刈羽原子力発電所」

柏崎刈羽原子力発電所は、柏崎市と刈羽村にまたがって位置し、敷地面積は約420万㎡となっています。合計7つの発電施設があり、総出力は821万2千kWです。(現在全号機停止中)



柏崎刈羽原子力発電所全景

なお、近年の動きとしては、柏崎フロンティアパークに東芝などの工場が立地し、佐渡市とともにEV・PHVタウンのモデル地域に指定され、低炭素社会の実現に向けた関連産業の創出に加え、地域エネルギー会社を立ち上げて柏崎市内での電力販売を計画するなど「新たなエネルギーのまち」の創生に向けた取組が進められています。

【 財 政 】

令和7年度の財政力指数は、柏崎市が0.646、刈羽村が1.411と県平均0.480を上回っています。実質公債費比率では、柏崎市が10.0%、刈羽村が-1.4%となっており、県平均（11.1%）を下回っています。

【 東日本大震災関連 】

東日本大震災による県外からの避難者数は、令和7年12月31日現在で、柏崎市に407人、刈羽村に20人、管内合計は427人で、新潟県への避難者総数1,716人の24.9%を占めており、新潟市に次いで2番目に多い方々が避難生活を送っています。

当振興局に避難者支援情報コーナーを設けて情報発信に努めています。

「海のまち柏崎」

柏崎の海岸線の延長は42kmに及びます。
そこには15の海水浴場が点在し、変化に富んだ日本海を楽しむことができます。また、日本の渚100選に入選した鯨波をはじめ海辺の美しさは日本海に沈む夕日とともに圧巻です。



東の輪海水浴場



日本海に沈む夕日

2 市村の概要

	管内計	柏崎市	刈羽村
人口[R 6.10.1] (人)	<u>78,247</u>	<u>76,086</u>	<u>4,161</u>
世帯数[R 6.10.1] (世帯)	<u>36,376</u>	<u>34,739</u>	<u>1,637</u>
面積[R 6.1.1] (km ²)	468.30	442.03	26.27
税収の状況[R 5] (百万円)			
決算額	18,220	15,023	3,197
市町村民税	4,709	4,458	251
固定資産税	11,532	8,645	2,887
その他	1,979	1,920	59
財政力指数[R 5]		0.649	1.387
実質公債比率[R 5]		9.6%	-1.7%
今後の主要課題		<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・少子高齢化の同時進行への対応 ・子どもを取り巻く環境の充実 ・大変革期を乗り越える産業イノベーションの推進 ・環境・エネルギー問題への取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・砂丘地振興事業 ・健康増進事業、子ども医療費助成事業の継続 ・地籍調査事業の継続

※出典：令和6年度新潟県市町村要覧

3 公共施設（公立）

(箇所数)

	教育					文化			福祉	医療
	幼稚園	小学校	中学校	中等	高校	市民会館等	公民館	体育館	保育所	診療所
柏崎市	0	19	11	1	4	5	28	4	14	7
刈羽村	1	1	1	0	0	1	1	6	1	2

※出典：令和6年度新潟県市町村要覧

「水球のまち柏崎」



柏崎市ではスポーツ振興による地域活性化として、水球大会の誘致や国際交流の推進などを通して水球のまちづくりに取り組んでいます。



ブルボンウォーターポロクラブ柏崎とシンガポール代表の国際親善試合

4 人口移動状況 [R 5.10.1 → R 6.10.1]

(単位：人)

	R 5.10.1 現 在	R 6.10.1 現 在	増減	自然動態			社会動態		
				出生	死亡	増減	転入	転出	増減
柏崎市	77,303	76,086	△ 1,217	314	1,278	△ 964	1,827	2,080	△ 253
刈羽村	4,209	4,161	△ 48	14	47	△ 33	142	157	△ 15
管内計	81,512	80,247	△ 1,265	328	1,325	△ 997	1,969	2,237	△ 268

※出典：令和6年新潟県人口移動調査結果報告

5 年齢3区分人口割合 [R 6.10.1]

(単位：%)

	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	【再掲】 後期老年人口 (75歳以上)
柏崎市	9.8	54.1	36.1	19.7
刈羽村	11.8	53.6	34.7	17.6
管内計	9.7	53.2	35.5	19.6
新潟県	10.6	55.1	34.4	19.0

※出典：新潟県推計人口（令和6年10月1日現在）

6 産業構造 [R 6.10.1]

	区 分	総 数	第一次産業	第二次産業	第三次産業
柏崎市	就業人口（人）	40,330	1,167	14,166	24,997
	構成比（%）	100.0	2.9	35.1	62.0
刈羽村	就業人口（人）	2,252	110	794	1,348
	構成比（%）	100.0	4.9	35.3	59.9

※出典：令和6年度新潟県市町村要覧



7 大学設置状況

(1) 新潟工科大学（1995年度開学）

工学部 定員：810人 学生数：545人 充足率：67.3%

(2) 新潟産業大学（1988年度開学）

経済学部 定員：560人 学生数：329人 充足率：58.8%

※出典：大学のHP：学校教育法施行規則に基づく教育情報の公開（令和7年5月1日現在）

8 高等学校の大学等進学状況

柏崎市（5校：柏崎、柏崎常盤、柏崎総合、柏崎工業、新潟産業大学附属）

(1) 令和6年3月高等学校卒業生数：591人（県：15,579人）

(2) 大学等進学率：49.6%（県54.1%、全国61.9%）

(3) 専修学校（専門課程）進学率：26.7%（県24.6%、全国15.5%）

(4) 就職者：20.1%（県15.6%、全国14.0%）

※出典：令和6年度学校基本統計

※刈羽村には高校が設置されていません

※大学等：大学・短期大学（通信教育部を含む）

※柏崎翔洋中等教育学校は含めていません



米山プリンセスと刈羽のおらんち米(コシヒカリ)

【米山プリンセス】

柏崎産コシヒカリを対象として、品質・食味・栽培方法に一定の基準を定めた認証米制度を創設し、認証基準をクリアした認証米を「米山(よねやま)プリンセス」と命名しました。平成30年秋にデビューしました。



【おらんち米】

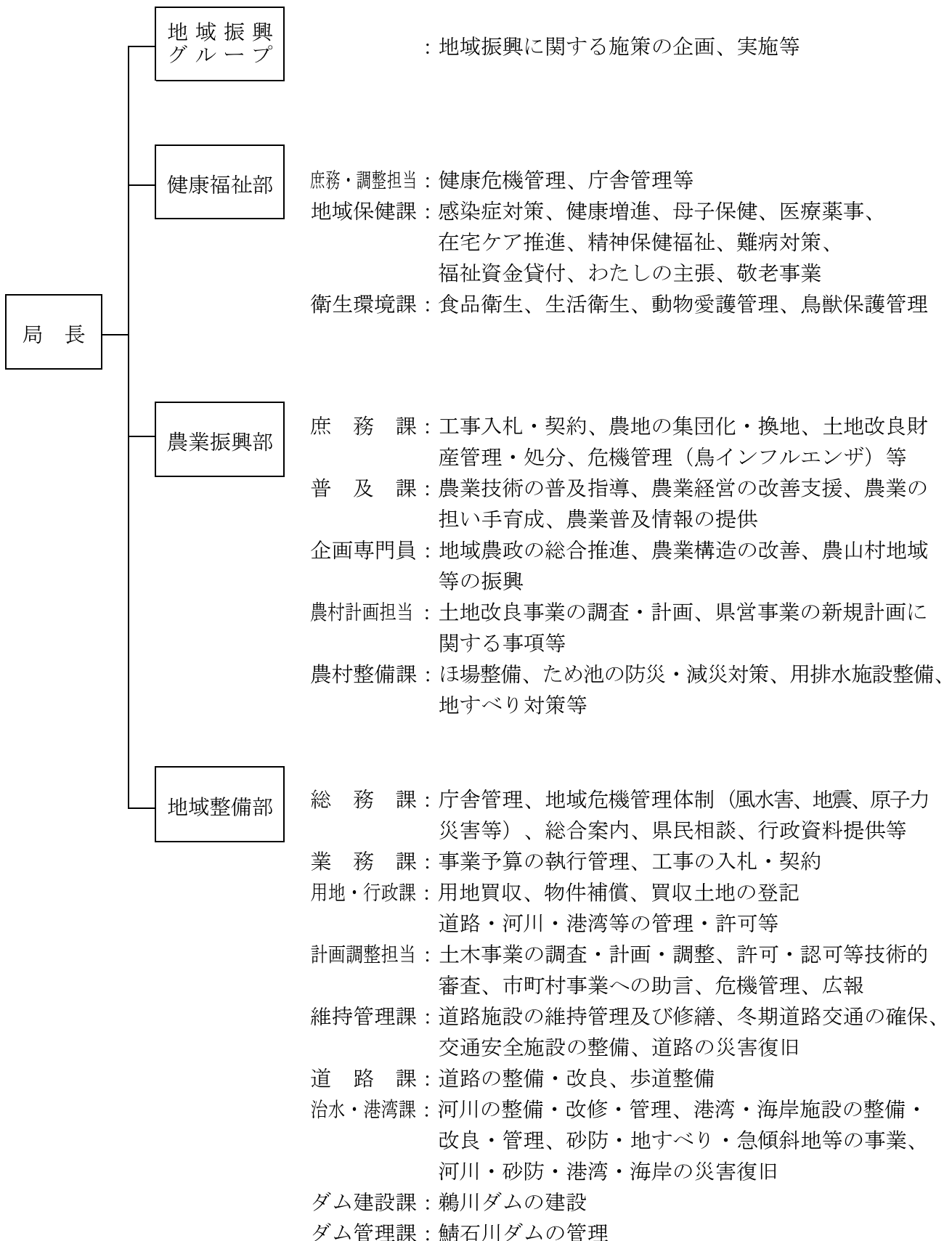
《おらんち》とは「私の家」という意味の方言です。

刈り取った稲を火を使わずに自然乾燥に近い除湿乾燥方式でやさしく乾燥、活きたモミのまま保管。お届け際に精米するため、農家の食卓で食べているのと同じ味をそのまま一般の家庭でも味わえるため、本当の米の味が賞味できると喜ばれています。

(出典：柏崎市、刈羽村HP)

II 柏崎地域振興局について

1 組織体制図



2 取組方針について

1 地域振興グループ

- 「一人一人が未来への希望を持って自らの幸福を実現できる、住んでよし、訪れてよしの柏崎地域」を実現するため、管内の地域振興につながる施策を展開しています。

2 健康福祉部

- 地域の住民が健やかに伸び伸びと共に暮らせるよう生命・健康・生活及び環境を守り、支えています。

3 農業振興部

- 柏崎・刈羽地域農業の持続的な発展に向け、関係機関・団体と連携して、生産基盤の強化、農業の担い手育成及び農業生産の拡大等に取り組めます。

4 地域整備部

- 安全で安心な地域づくりを推進するため、道路や河川・ダム・海岸・港湾等の整備・維持・老朽化対策を行っています。
- 地域を支える建設産業の担い手確保のため、建設業・土木の魅力を伝える取り組みを行っています。

3 危機管理について

自然災害などの危機に対する局の対応能力を維持・向上させます。

自然災害や鳥インフルエンザ等への対応

「柏崎地域危機管理対応マニュアル」、「柏崎地域鳥インフルエンザ対応マニュアル」などを策定し、災害発生時を想定した訓練と研修を実施しています。



地震発生時における危機管理対応訓練



鳥インフルエンザ防疫訓練



ご当地ゆるキャラ「えちゴン」

越後柏崎のPRキャラクター。
新潟キャラクター総選挙2017で
優勝を獲得した地域の人気者。



Ⅲ 各部の取組

1 地域振興グループ

- 「一人一人が未来への希望を持って自らの幸福を実現できる、住んでよし、訪れてよしの柏崎地域」を実現するため、管内の地域振興につながる施策を展開しています。

訪れてよしの地域実現に向けた取組

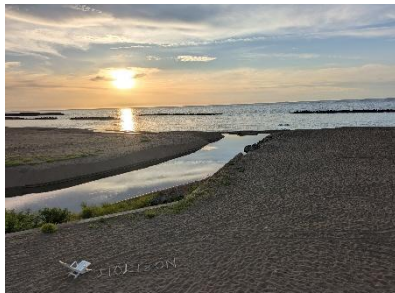
(1) 観光誘客の取組

柏崎市及び観光協会等と連携し、地域の観光資源の魅力向上や新たな観光資源の発掘、外国人観光客の受け入れ体制の整備等に取り組むとともに、広域的なエリアで観光誘客力を高めるため、周遊を促す取組や地域の魅力の情報発信を行っています。

また、首都圏向け事業として、令和7年度は埼玉県越谷市の商業施設にPRブースを設置し、管内市村の観光資源と魅力をPRしました。



松雲山荘 紅葉ライトアップ



鯨波海岸の夕日



イオンレイクタウン(越谷)でPR

このほか、柏崎市高柳にある新潟県立こども自然王国と連携し、アウトドアの魅力を県内外にアピールする事業を行っています。



「ソトアソビ ソトゴハン in こども自然王国」

(2) 水球による交流人口拡大の取組

柏崎には全国トップクラスの水球クラブチームがあり、多数のオリンピック選手を送り出しています。柏崎市等と連携し、イベントの開催等による交流人口の拡大や地域活性化の取組など、「水球のまち柏崎」のPRに取り組んでいます。

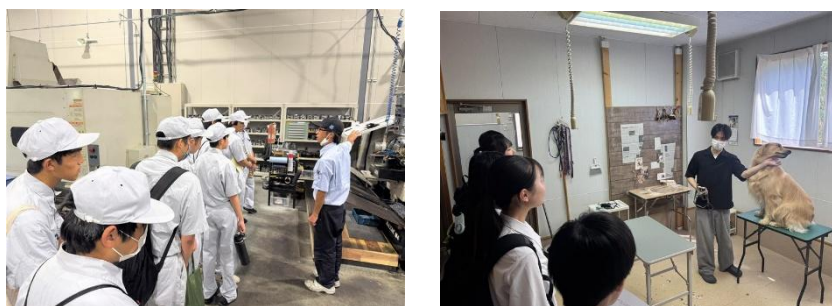


海で水球 in 柏崎

住んでよしの地域実現に向けた取組

(1) 人口減少問題に対する取組

若者の地元定着につなげる取組として、高校生に地域企業の魅力を知ってもらうための地域企業見学会や地域企業協力による授業を、高校と協力して実施しています。



地域企業見学会での現場体験

(2) 中山間地域等への支援

関係市村、地域振興局内の各部と連携して中山間地域等における地域の魅力向上及び地域活性化に向けた住民の取組を支援しています。



地域との会議 “この里山が憩いと健康づくりの場となるように” 山道や植栽の状況確認

2 健康福祉部

- 地域の住民が健やかに伸び伸びと共に暮らせるよう生命・健康・生活及び環境を守り、支えています。

1 こころとからだの健康づくりの推進

- 健康立県の推進

地域住民の健康寿命の延伸に向け、市村や関係団体、企業等と連携・協働した県民運動を展開し、生活習慣病予防・健康づくりを推進しています。

また、学校や地域の食育関係者と連携した食育に取り組んでいます。



「食生活」キャッチフレーズ
からだがよるこぶ、
一皿を足そう。



食育啓発リーフレット類

- こころの健康づくりと自殺予防対策

誰もが自殺に追い込まれることのない地域を目指し、自殺の多い世代や自殺ハイリスク者に対する支援や社会における生きづらさを抱えた方への支援を行います。



大学での普及啓発



新潟県こころの相談ダイヤル

2 食の安全・安心の推進

HACCP(ハサップ：国際的に推奨されている食品衛生管理の手法)に沿った衛生管理を食品等事業者へ定着させるため、各種研修会、講習会において指導を行うとともに、小規模事業者向けの相談会を開催しています。



HACCP に関する相談会

3 その他事業

- ・わたしの主張 ―柏崎・刈羽地区大会の開催―
次代を担う青少年を健全に育成するため、「わたしの主張大会」を開催し、中学生が日ごろ考えていることを発表します。
毎年8月に開催しています。



令和7年度発表者集合写真

・敬老事業

多年にわたり社会の発展に寄与してこられた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、広く高齢者福祉に対する関心と理解を深めるため、敬老の日（9月の第3月曜日）を中心に、敬老事業を実施しています。

毎年度、「老人の日記念事業」の一環として100歳になられる方に表敬訪問を行い、お祝い状と記念品を贈呈しています。



令和7年度表敬訪問

3 農業振興部

- 柏崎・刈羽地域農業の持続的な発展に向け、関係機関・団体と連携して、生産基盤の強化、農業の担い手育成及び農業生産の拡大等に取り組めます。

(1) 生産基盤の強化

① 用水の安定供給

夏の渇水時期でも農業用水を安定して供給するため、用水源の3つのダム（栃ヶ原ダム、後谷ダム、市野新田ダム）から下流の用水施設改修を進めています。



市野新田ダム(国営造成施設)



取水口改修(山口頭首工)



用水路改修

② ほ場整備の推進

農業者の所得向上を図るため、ほ場整備による農地の大区画化を進め、担い手への農地集積・集約化及びほ場整備を契機とした園芸作物の導入を推進しています。



ほ場整備「山口地区」



えだまめ栽培

③ 防災・減災の推進

ため池の決壊による被害の未然防止や老朽化した農業水利施設の機能を確保するため、計画的な整備と補修等の対策に取り組んでいます。



ため池改修(新池)

(2) 農業・農村の担い手育成

① 力強い農業構造の確立と農業人材の確保・育成

農業者の高齢化が進む中、農地の集積・集約化や担い手による効率的な営農体制の構築を支援しています。



農地の維持に向けた勉強会

法人への就業者の確保・定着並びに経験の浅い農業者への栽培技術の習得を支援しています。



水稻栽培技術の現地講習

② 中山間地域における農業・農村の維持・発展

農業者数の減少や高齢化が加速している中山間地域において、農業・農村が維持・発展していけるよう、地域住民の主体的な参画による将来プランの策定や実践を支援しています。



プラン策定に向けた話し合い

(3) 農業生産の拡大

① 水田所得の最大化

柏崎・刈羽米のブランド力強化に向けて、基本技術の徹底と栽培管理情報の迅速な提供などにより、気象変動に対応した高品質・安定生産の実現に取り組んでいます。

また、作期分散や所得確保のため、大規模法人を中心に非主食用米の作付けを推進しています。



地域のブランド米として、生産拡大と品質向上に取り組んでいる「葉月みのり」(上)と「米山プリンセス」(下)



② 園芸振興基本戦略の着実な実践

米に大きく依存した本県農業の新たな経営の柱として、園芸生産の拡大を推進するため、関係機関・団体が一体となって稲作法人等への園芸導入の啓発や栽培技術指導などを行っています。



えだまめの共同集出荷施設(上)と
たまねぎの大型収穫機(下)

4 地域整備部

- 安全で安心な地域づくりを推進するため、道路や河川・ダム・海岸・港湾等の整備・維持・老朽化対策を行っています。
- 地域を支える建設産業の担い手確保のため、建設業・土木の魅力を伝える取り組みを行っています。

1 道路整備 安心・安全・暮らしやすい地域づくり

(1) 道路の整備・改良

管内の道路は、一般国道8号をはじめとした主要幹線国道に、県道、市町村道が接続し観光拠点等を結ぶ連絡道路、地域の重要な生活道路として、道路網を形成しています。

しかし、管内には幅員狭小、線形不良などで整備が必要な道路や、渋滞対策、歩道拡幅等バリアフリー対策が必要な道路が多くあるため、現在は令和3年度に策定された新潟県みちづくり計画の基本方針に基づき、効率的・効果的な整備を進めています。



一般国道 353 号 石黒改良 (令和 7 年度事業完了)



一般国道 352 号 荒浜改良

(2) 歩道整備

歩行者の安全を確保するため、通学路や幹線道路等で歩道の新設や拡幅を行っています。



一般国道 252 号 安田地内

2 道路管理 安全で安心な道路を確保

(1) 日常的な道路の維持・補修

通行の安全確保を図るため、日々、管内の県管理道路において道路パトロールを実施し、危険箇所の早期把握および必要な補修を行っています。

また、安全で安心な道路空間を確保するため、傷んだ舗装や側溝等の補修を行っています。



道路パトロール状況



舗装補修工事状況

(2) 道路除雪

冬期間における地域の生活や経済活動を支えるため、除雪機械や消雪パイプを活用し、円滑な道路交通の確保に取り組んでいます。



歩道除雪



車道除雪

(3) 計画的な道路施設の維持管理

将来にわたり道路施設を安全に利用するために、橋梁やトンネル等について定期的な点検を実施し、計画的に補修を行っています。



橋梁点検状況



トンネル点検状況

3 河川整備 水害から地域を守る、安全な川づくり

管内には、一級河川と二級河川合わせ、計 58 の管理河川があり、その中でも鯖石川と鵜川は、流域が広く、下流の市街地においては氾濫区域が重複している特に重要な河川です。

近年では昭和 53 年、平成 7 年、16 年、17 年の豪雨により大きな浸水被害が発生しています。このため、河道拡幅等の改修事業を実施しています。



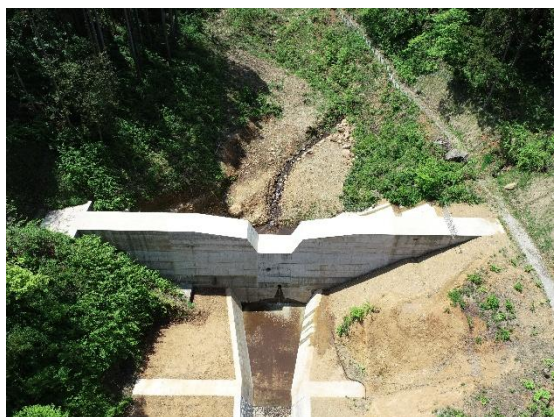
鯖石川河川改修



鵜川河川改修

4 土砂災害対策 土砂災害を防ぎ、安心して暮らせる県土づくり

管内には、土砂災害の危険のある地区が多くあります。また、雪崩危険地区も多くあります。これらの地区の災害発生を未然に防ぐため、砂防えん堤等の施設整備（ハード対策）と併せて、土砂災害防止法に基づく警戒避難体制の整備（ソフト対策）を実施することにより、安心して暮らせる県土の確保に努めています。



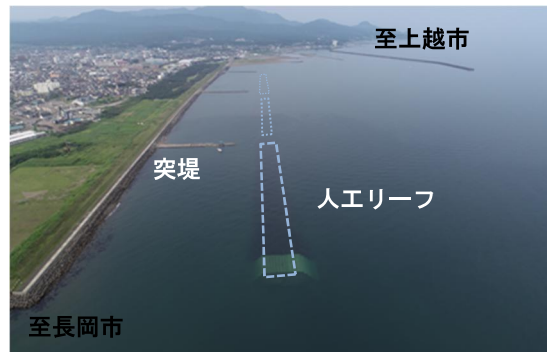
成沢砂防えん堤（土石流対策）



苗代地区（がけ崩れ対策）

5 海岸整備 美しく、安全な海岸づくり

管内は西側が全て日本海に面しており、約42kmの海岸線を有しています。砂浜の保全と回復を主体とした海岸整備を進め、防護・環境・利用のバランスがとれた海岸管理を行っています。



荒浜海岸

6 港湾整備 みなとまちの拠点整備

柏崎港は、昭和46年7月に国際貿易港として開港指定を受けて以来、中越地域の拠点港として発展してきました。また、海の観光柏崎の拠点に位置することから、海洋レジャー観光の機能充実を図るとともに、災害時の防災拠点として、施設整備を進めています。



柏崎港【鯨波地区】

7 ダム建設・管理 洪水被害・渇水被害から地域を守る

昭和 48 年に完成した鯖石川ダムにより、鯖石川の洪水調整と、流水の正常な機能の維持を図っています。また、鵜川でも同様の目的で、鵜川ダムを建設しています。



鯖石川ダム



鵜川ダム (R 7. 12 月撮影)

8 建設業・土木の魅力を伝える

建設業・土木の魅力を伝えるため、建設関係団体や地元関係者と協力し、現場見学会やイベントなどを行っています。



土木出張 P R



土木出張 P R (測量体験)



鵜川ダム 建設現場見学会

IV 柏崎地域のみどころ等

◇ 柏崎エリア①



【海の大花火大会】

ぎおん柏崎まつり大花火大会は越後三大花火として知られ、毎年7月26日に柏崎海浜公園にて約15,000発を打上げます。

尺玉300連発、尺玉100発一斉打ち、海中空大スターマイン、600mワイドスターマインは圧巻です。



【えんま市】

毎年6月14日から16日まで開催され、全国から集まった500以上の露店が立ち並びます。

昔、馬市に始まって、文政のころに露店などが立ち並ぶ今の姿になったと言われており、その長さは数キロメートルにもなります。



【松雲山荘の紅葉】

池や灯籠、太鼓橋などを配した情緒あふれる日本庭園は、大正15年の造園です。園内には、もみじ、つつじ、赤松など多くの木々が色づきます。

毎年11月上旬～下旬にかけて夜間ライトアップも行われ、多くの見物客で賑わいます。

◇ 柏崎エリア②



【米山福浦八景】

柏崎西部のリアス式の海岸線には、日本海の荒波によって作り出された不思議な形の岩や洞窟が連続し、日本海の澄んだ青と相まって美しい景色が広がります。

この風光明媚な海岸線は、県立自然公園に指定されており、代表的な八つの美しい景観から「福浦八景」と呼ばれています。

(写真：牛が首層内褶曲)



【ドナルド・キーン・センター柏崎】

ニューヨークにあった自宅の書斎、居間などを復元展示し、キーンさんの「人となり」や「作品」「業績」などを、さまざまな展示や映像で紹介しています。

(所在地)

柏崎市諏訪町 10-17



【柏崎さけのふるさと公園】

さけを中心に自然環境や生命の大切さを学習できる施設です。

谷根川(たんねがわ)に通じる人工河川では、さけを真横から観察することが出来ます(おおむね11月上旬から12月上旬)。

また、公園内の展示館には、谷根川を中心とした「さけの増殖事業」に関する資料が展示されています。

(所在地)

柏崎市青海川 81-4

◇ 高柳エリア



【日本のふるさとの原風景】

高柳町荻ノ島は、かやぶき屋根の民家が田んぼを中心に環状に点在する全国でも珍しい集落です。この日本のふるさとを思い起こさせる懐かしい風景は、訪れる人々の心を和ませてくれます。

また、かやぶき民家での宿泊、食事でもでき、田舎体験を存分に楽しめます。

◇ 西山エリア



【長嶺大池の白鳥】

毎年11月頃から3月頃まで、最大で400羽を超える白鳥が飛来し、冬の訪れを告げます。

駐車場やトイレも整備され、遊歩道を散策しながら静かに野鳥を観察できます。白鳥以外のさまざまな野鳥も飛来します。

◇ 刈羽エリア



【ぴあパークとうりんぼ】

JFA推奨の人工芝サッカー場、日帰り入浴可能な人工炭酸泉の露天風呂「宿泊交流センターピーチビレッジ」、県ブランド苺の生産を行う「ピーチビレッジ園芸ハウス」、砂丘桃の圃場、「新潟大学刈羽村先端農業バイオ研究センター」などを集約した複合施設です。

(所在地)

刈羽村刈羽大字刈羽 4286-2

◇ ご当地グルメ



【鯛茶漬け】

全国ご当地どんぶり選手権でグランプリを獲得した、柏崎鯛茶漬けです。

柏崎市は県内有数の鯛の漁獲高を誇っています。新鮮な鯛の刺身や焼いた身をほぐして炊きたての地元産コシヒカリにのせ、温かいだし汁をかけて食べる『柏崎鯛茶漬け』は、柏崎の名物です。



【田舎のごっつお】

高柳町門出にある、かやぶき民家の宿泊施設で昔懐かしい囲炉裏を囲みながら、手づくりの田舎ごっつお（方言：「田舎のごちそう」）を味わうことができます。杵と臼での餅つきができるほか、近くには門出和紙の工房もあり、和紙の折り染めやオリジナルコースター作り、紙すき体験ができます。



【刈羽村の特産品 砂丘桃】

刈羽の桃は、水はけが良く陽の照り返しが強い砂丘地で作られていることから、独特の甘みが出るということです。

※出典：柏崎市、刈羽村 HP より



黒姫山

新潟県柏崎地域振興局
〒945-8558 柏崎市三和町5番55号
代表電話：0257(21)6203
(地域整備部総務課)